2020年12月某日

差枚	-1645枚 +5873発	RANK	C

実戦機種

ロックマン アビリティ 史上最大の試練、パチスロ交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO、ほか

実戦レポート

何回か前のレポートに「最近、入場抽選で良い番号を引いていない」と愚痴ったことがあったが、良いとか悪いとかのレベルではない「159番」という数字がついに出てしまった。オンライン入場抽選は便利だが、スマホの画面を見て「おお！」と心躍った経験は皆無と言っていい。「あぁ…」と嘆きのため息が出た経験は幾度となくあるが。

しかしそれにしても、今回は酷い。番号さえ良ければ打ちたいと思っていた新台「パチスロ モンスターハンター：ワールドTM」は言わずもがな、それ以外の全台系や特定末尾の狙いも何もあったもんじゃない。「空いている中から、なるべくマシな台に座る」。その一心で、開店時間から10分以上も遅れて入店。それでも一縷の望みがあるとすれば、バラエティコーナーだろうか…。しかし一目散に向かったそのシマも、通路には溢れんばかりの人、人、人。だが完全に売り切れというわけでもない。なんとか少しでも可能性のある台を…と祈るように確保したのは、一応「新台」という扱いとなっている「ロックマン アビリティ 史上最大の試練」。たしか、一度は2台機種として導入されたような記憶があるが、その後すぐ外されたか何かで姿が見えなくなり（うろ覚え）、色々な機種の撤去期限とか入替とかあって、再導入となった形かな。技術介入込みで出玉率が甘めの機種ではあるものの、高設定だからといって大きく出るスペックでもないし、まぁ低設定だったとしてもさほど大ケガにはなるまい。ならないといいなぁ…。

そんな低い志で打ち始めた台が運良く高設定だったことなんて、長いパチスロ人生でも本当に確率の低いケースである。というか、記憶に全くない。結局この台はボーナスの1回すら引くことなく「こんな日に設定1を覚悟で打つとか何やってんだろ…」と我に返ってヤメ。なんだかんだ毎回1台は高設定っぽいのがある、大好きな「エウレカ3」に空き台が出たのでな。
移動したその台は、朝イチからいきなり707Gの天井へ到達し、ボーナス終了後に即ヤメされた模様。もちろん挙動として良くはないが、707G間での所要周期が何回か分からないので、可能性としては全然ある。ということで打ち始めると…うわぁ、隣がバリバリの高設定挙動じゃあないですかぁ。全台高設定を望むならそれも悪い材料ではないが、あいにく本日の第1候補である「パチスロ モンスターハンター：ワールドTM」が、誰が見ても疑いようのないほどに全台良挙動。当然オレのエウレカ3はヤメるのだが、問題は移動先がマジで無い。稼働は高いし、特定末尾の候補であるいくつかの数字も、対象台が空く気配は全くない。しょうがない、またパチンコか…。ということで過去最長のパチンコ実戦の結果、一時は60Kオーバーまで膨れ上がった投資を何とか半分くらい回収して、納得のC級。次回はもっとマシな番号で入店を頼む。